

第 25 回日本内視鏡外科学会総会（25th JSES）のご案内

第 25 回日本内視鏡外科学会総会を下記の通り開催いたします。会員の皆様には多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

詳細は総会ホームページ（<http://www2.convention.co.jp/25jses/>）に掲載いたしますのでご確認ください。

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 会長 松本 純夫

会 期：2012 年（平成 24 年）12 月 6 日（木）～8 日（土）

会 場：パシフィコ横浜

〒 220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL 045-221-2155

会 長：松本 純夫（国立病院機構東京医療センター 院長）

学術集会テーマ：「面より空間を拓く，五感より視覚・触覚を磨く」

内視鏡を挿入する空間を考えると，第一は口や肛門など外界と交通した消化管に挿入するもの，第二は胸腔や腹腔など外界から閉鎖された空間に内視鏡を挿入するもの，そして第三は皮下や筋膜下など本来は隙間のない場所に空間を創出して行う手術と考えています。また 2 次元のモニター画面から三次元の空間で深度感覚を磨きながら行う手術の意味もあると考えています。

今回の学術集会では多くの外科医が十分なレベルの内視鏡手術を施行できるようにするためには，これまでの成果を踏まえてどのようなトレーニング方法や器具の開発が必要か，また外科医自身にもやさしい医療であるための技術開発について，低侵襲の手術技術を生体医工学の観点からも追求してみたいと考えています。

演題募集について：演題募集を締切りました。多数のご応募ありがとうございました。

問合せ先：第 25 回日本内視鏡外科学会総会 事務局

事務局長：磯部 陽（国立病院機構東京医療センター 統括診療部長）

国立病院機構東京医療センター

〒 152-8902 東京都目黒区東が丘 2-5-1

TEL：03-3411-0111（代表） FAX：03-3412-9811

第 25 回日本内視鏡外科学会総会 準備室

日本コンベンションサービス株式会社内

〒 100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階

Tel：03-3508-1214 Fax：03-3508-1302 E-mail: jses 25 @convention.jp

◆プログラム（予定）◆

※ 演者・座長等最新情報は総会ホームページにてご確認ください（URL：<http://www2.convention.co.jp/25jses>）。

◇招請講演

- ・ Abe Fingerhut (European Association for Endoscopic Surgery, France)
- ・ Daniel Cherqui (Liver Transplantation - Weill Cornell Medical Center, USA)
- ・ Gyu-Seong Choi (Kyungpook National University Medical Center, Korea)
- ・ Jang-Ming Lee (National Taiwan University Hospital, R.O.C.)
- ・ Jihad Kaouk (Cleveland Clinic, USA)
- ・ Joo-Hyum Nam
(Department of Obstet & Gynecol, University of Ulsan, Asan Medical Center, Korea)
- ・ Keith Georgeson (Sacred Heart Medical Center, USA)
- ・ Scott J. Swanson (Minimally Invasive Thoracic Surgery, Harvard Medical School
Brigham and Women's Hospital Dana-Farber Cancer Institute, USA)
- ・ Tonia M. Young-Fadok (Mayo Clinic College of Medicine / Division of Colon and Rectal Surgery,
Mayo Clinic, AZ)

◇国際名誉会員 記念講演

- ・ Ara Darzi (Imperial College London, UK)
- ・ Davide Lomanto (Minimally Invasive Surgical Centre - National University Health System,
Singapore)
- ・ Wei-Jei Lee (Min-Sheng General Hospital, R.O.C.)

◇会長講演

◇シンポジウム

- ・ 腹腔鏡補助下胃癌手術の適応拡大（進行胃癌）
- ・ 肝臓・膵臓内視鏡外科の進歩と今後の課題（保険収載後の普及について）
- ・ 食道癌の胸腔鏡下手術—手技の工夫と手術成績
- ・ 乳腺・内分泌における内視鏡外科
- ・ 難治性皮膚潰瘍に対する内視鏡下手術
- ・ 新生児・乳児における内視鏡手術の展開：標準化を目指して
- ・ 区域切除—Hybrid or Complete VATS
- ・ 単孔・Reduced Port Surgery の利点／欠点—1（胆嚢とヘルニア）
- ・ 単孔・Reduced Port Surgery の利点／欠点—2（大腸，胃，婦人科，その他）
- ・ 内視鏡下手術のトレーニング
(消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／泌尿器科／小児外科／婦人科／整形外科)
- ・ ロボット手術の現状と将来
- ・ ロボット手術の適応と将来展望
- ・ コスト（日本の健康保険制度との整合性）

- ・手術映像の保存—技術的進歩と運用上の課題
- ・内視鏡外科手術に特化した手術室—現在の問題点と理想とする将来像—
- ・Emerging Technology を市販化に結びつける原動力とは何か—臨床に還元できる研究成果—
- ・私の考える内視鏡外科学会の E ラーニングについて
- ・運動器内視鏡下手術の進歩と課題

◇特別シンポジウム

- ・低侵襲手術ナビゲーション最前線：Virtual 3D 画像と臓器立体モデル

◇パネルディスカッション

- ・Robotic surgery による胃切除
- ・Training in laparoscopic colorectal surgery
- ・総胆管結石の内視鏡下治療
- ・鼠径ヘルニアの内視鏡下手術のコツとトラブルシューティング
- ・呼吸器外科における Robot 手術
- ・心臓血管領域における内視鏡外科手術の現状と将来
- ・前立腺全摘術：ロボット支援手術でより高い根治性が得られるか？より高い QOL が得られるか？
- ・腹腔鏡下子宮筋腫核出術のコツ
- ・単孔式内視鏡手術の現状と将来
- ・内視鏡下手術時のトラブルシューティング（合併症・偶発症予防対策）
- ・ロボット支援手術のトレーニングシステムの現状と今後
- ・腹腔鏡手術におけるステープリングデバイスの適切な選択と使用方法（大腸・肛門）
- ・内視鏡外科機器開発の諸問題
- ・解剖学的名称や用語など横断的企画
- ・3D 化された視野にてどこまで内視鏡下手術は効率化されるのか—3D 環境を経験して—

◇ワークショップ

- ・内視鏡下手術と ESD のハイブリッド手術の適応・可能性
- ・食道良性疾患の内視鏡下手術の工夫—腹腔鏡下手術から単孔式手術まで
- ・泌尿器系単孔・Reduced Port Surgery の適応
- ・各種方法（マイクロターゼ、クランプ、開腹）による腎部分切除術の長期成績
- ・腹腔鏡大腸切除の術中困難症例の対処（肥満症例）
- ・肥満外科手術を日本で成功させるためには何が必要か
- ・腹腔鏡下単純子宮全摘術のより一層の普及をめざして
- ・子宮悪性腫瘍における腹腔鏡下手術
- ・経陰的アプローチ
- ・美容的アプローチ
- ・救急医療における内視鏡外科手術の果たす役割
- ・技術認定制度の課題と将来像
- ・医工の連携による内視鏡手術機器の開発
- ・内視鏡外科におけるチーム医療の在り方

- ・内視鏡外科における安全な器機管理
- ・ロボティックスの内視鏡下手術への適用—工学技術を実臨床に応用させるには—
- ・Emerging Technology 内視鏡下手術に結びつく技術シーズ
(視覚, 触覚, 鉗子, トロカー, ロボットアームなど)

◇平成 24 年度医学生・研修医等をサポートするための会

- ・やりがいを持って内視鏡外科を続けるために—医学生・研修医へのメッセージ—

◇JSES/SAGES Joint Symposium

◇要望演題

◇教育セミナー

- ・縫合・結紮手技のトレーニングと実際 I
- ・縫合・結紮手技のトレーニングと実際 II

◇スポンサードシンポジウム

- ・理想的な修復術としての腹腔鏡下ヘルニア修復術～腹壁瘢痕ヘルニア, 傍ストーマヘルニア
- ・3D 内視鏡に関する使用経験報告
- ・あらたな内視鏡外科手術支援: 3D 画像ナビゲーションから臓器立体モデルへ
- ・3D スコープセッション

◇一般演題 / チーム医療一般演題

消化器外科, 胸部外科, 小児外科, 乳腺外科, 内分泌外科, 心臓血管外科, 脳外科, 産婦人科, 泌尿器科, 整形外科, 形成外科, チーム医療などの領域における内視鏡手術に関する研究発表

発表方法: すべての口演は PC 発表にて行います。スライドプロジェクターは使用できません。

また、動画に関しては、すべて PC (Win / Mac) を用いてご発表いただきます。会場にビデオ機材をご用意しておりませんので、ご注意ください。

参加費: 会 員 : 15,000 円
 メディカルスタッフ: 5,000 円
 学部学生: 無料
 日本医工ものづくりコモンズ: 5,000 円

◆医工連携 出合いの広場

—ものづくり 日本の技術 医療機器 世界の外科医へ 届けよう!—

日本の医工連携を促進させるため、期間中、展示会場内にて医学・工学・産業の交わる出合いの場を設けることといたしました。経済産業省関東経済産業局, 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構, 日本医工ものづくりコモンズのご協力を得ており、以下の 4 つの企画をご用意しております。

- (1) ものづくりを中心とした中堅・中小企業の出展・シーズ発表
- (2) 医療現場に従事する学会員からの医療機器開発に係る課題・ニーズ発表
- (3) 医工連携の加速をサポートする機関による出展・ソリューション発表
- (4) 医療機器開発に関する医師・企業・機関の相談・マッチングスペースの提供

詳細につきましては下記総会ホームページにてご確認ください。

<http://www2.convention.co.jp/25jses/contents/ikourenkei.html>

会員懇親会：日 程：2012 年 12 月 7 日（金）

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
3 階「ボールルーム」

JSES/SAGES Joint Symposium “Robotic Surgery-Current Status in USA and Japan-”

日本内視鏡外科学会「国際委員会」

この度、第4回 JSES/SAGES Joint Symposium を、来る平成24年12月7日、第25回日本内視鏡外科学会総会時に開催いたします。今回のテーマは「Robotic Surgery-Current Status in USA and Japan-」といたしました。日米の共通点、相違点などを明らかにして参りたいと考えております。

テーマ：「Robotic Surgery-Current Status in USA and Japan-」

日時：平成24年12月7日（金） 8：30～10：30

会場：パシフィコ横浜 1階 メインホール

プログラム

司 会：JSES 松本 純夫（国立病院機構東京医療センター）
山本 学（足立共済病院）
SAGES Steven D. Schwaitzberg（Cambridge Health Alliance）

演 者：JSES 宇山 一郎（藤田保健衛生大学 上部消化管外科）
坂井 義治（京都大学 消化管外科）
大平 猛（九州大学 先端医療イノベーションセンター）
能城 浩和（佐賀大学 一般・消化器外科）

SAGES Daniel Scott（UT Southwestern Medical Center）
Matthew Albert（The Center for Colon and Rectal Surgery）
Brian Dunkin（Methodist Institute for Technology, Innovation and Education）
Santiago Hogan（University of California , San Diego）